

漁海況情報

発行 新潟県水産海洋研究所
新潟市五十嵐3の町13098-8
TEL 025-261-2043
025-261-2044
FAX 025-261-0335

第 436 号 平成 20 年 8 月発行

海況

8月の海洋観測は都合により欠測しました。そこで、(独)水産総合研究センター-日本海区水産研究所が運用している日本海海況予測システム(JADE)による予測海況図(別紙、一部改変)を掲載しますので、参考にして下さい。

なお、この予測海況図は、8月4日までのデータを基に、8月20日の海況を予測したものです。水温は、表層(2.5m)から200m深まで、平年並みからやや高めに推移する見込みです。また、50m~100m深では、7月上旬にみられた佐渡島北方の暖水域は解消し、冷水域の張り出しがやや強まる見込みです。

クラゲ情報

1. ミズクラゲ

前号でもお知らせしましたが、今春季、新潟県沿岸でミズクラゲが大量に出現しています。近年では平成12年、14年にも大量に出現し、その時には8月末になってようやく終息しています。

7月16日に行った佐渡の定置網調査では衰弱個体が多く、終息間近ともみえましたが、8月上旬現在も定置網やごち網への入網情報があり、引き続き注意が必要です。

2. 大型クラゲ(エチゼンクラゲ)

大型クラゲについては、(独)水産総合研究センターを中心に国内の関係機関及び韓国国立水産科学院が連携して既に調査が実施されています。8月上旬までの調査範囲(黄海、東シナ海、韓国沿岸)では、韓国沿岸で散発的に出現している他、黄海、東シナ海でも出現していますが、その量は昨年同時期に比べかなり少ない目です。

9月の漁業指導船運航予定

[越路丸]

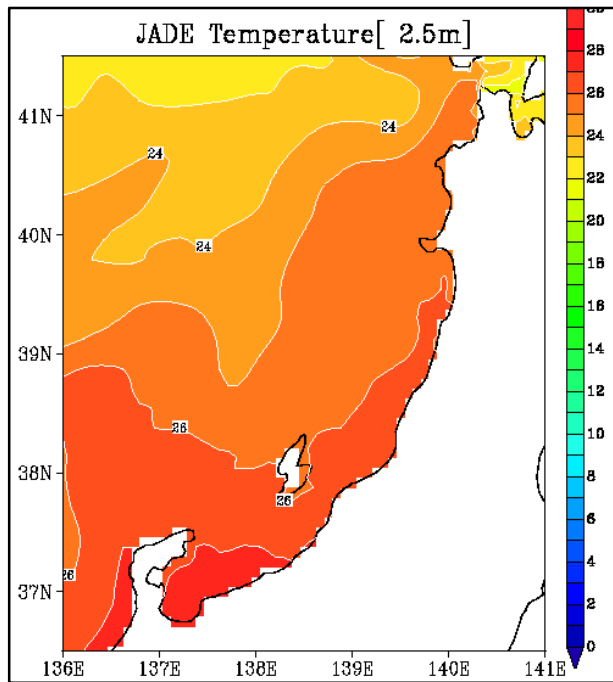
9/1~9/4 海洋観測
9/24~9/26 急潮調査
9/29~9/30 海洋観測

[苗場]

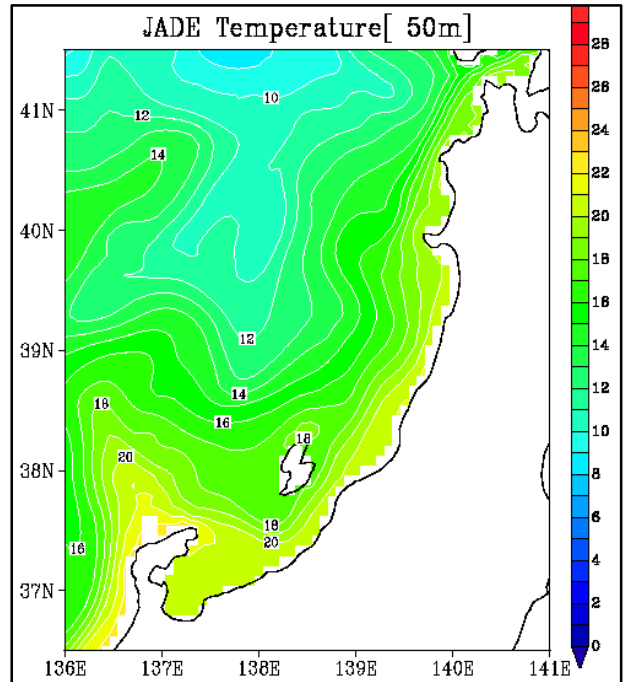
9/10~9/11 板曳網調査
9/16~9/19 温排水調査、底・水質調査、保環研調査

水深別水温図

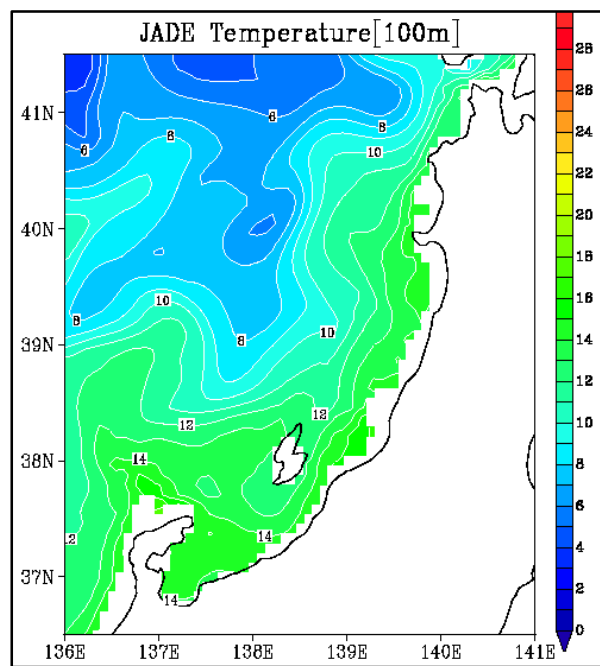
表層 (2.5m)



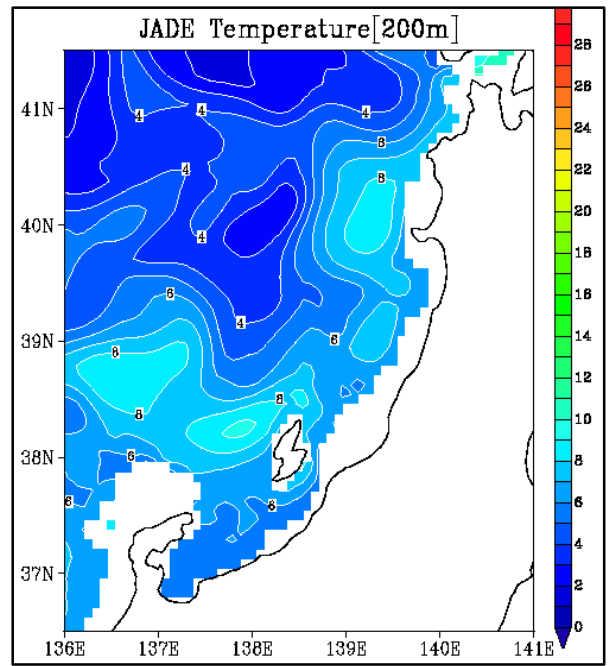
50m



100m



200m



<http://www.pref.niigata.lg.jp/suikai/>